

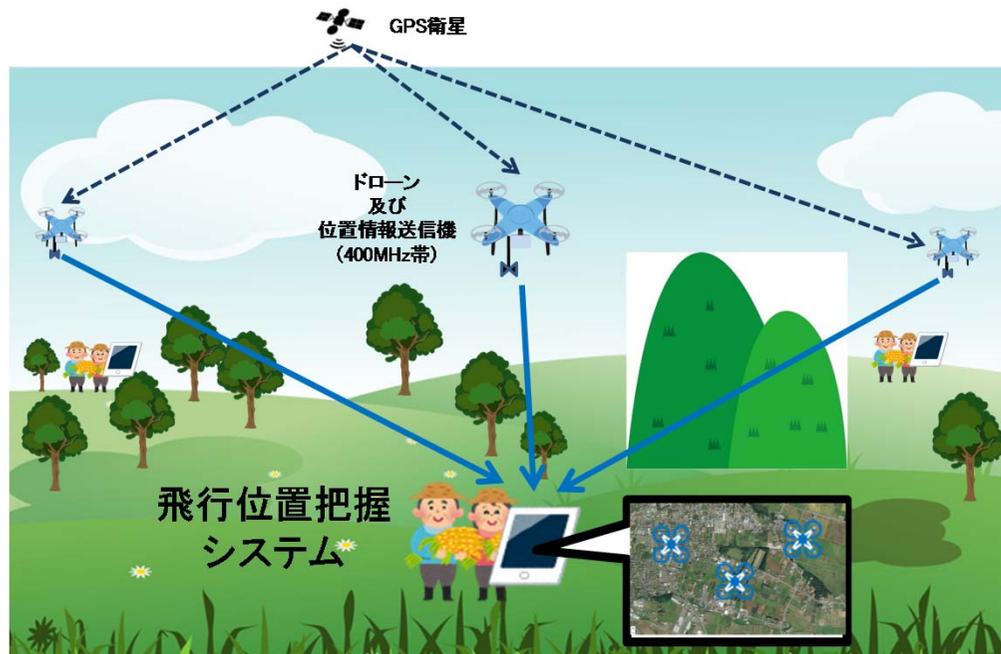
「小型無人機の飛行位置把握に係る無線システムの調査検討会」の概要

別紙

- 近年、災害対応や物流(宅配)等の分野において、小型無人機(ドローン)が見通し外の長距離を飛行するような利用形態へのニーズが高まりを見せている。
- このような中、東北総合通信局では平成29年7月から「小型無人機の飛行位置把握に係る無線システムの調査検討会」を設置し、見通し外の地点を飛行するドローンの位置情報等を取得可能な新たな電波利用によるシステムの実用化に向け、その基本的な構成や技術的条件等の検討を行っている。
- 本システムは、400MHz帯の周波数の電波を使用してドローンからの位置情報等を地上へ伝送するもので、例えば非常災害時や中山間地域での利用において携帯電話回線が使用できないような場合であってもドローンからの位置情報等を取得できる等の特長を有している。

【検討項目】

- ドローンの利用形態と通信ニーズ等の把握
- 飛行位置把握システムの構成に関する検討
- 実証試験
- 技術的条件及び他の無線システムとの周波数共用の検討



(参考) システムイメージ

第1回会合の様様



| 会合 | 月日 | 場所 |
|-----|----------|------|
| 第1回 | H29.7.12 | 仙台市 |
| 第2回 | H29.9.8 | 仙台市 |
| 第3回 | H29.12.1 | 仙台市 |
| 第4回 | H30.2.7 | 南相馬市 |
| 第5回 | H30.3.13 | 仙台市 |

公開実証試験の様様 (第4回会合と併催)

